

共創から自分を
変えていく



Obwa & Co.

應和監査法人

Recruiting guide





Top message

企業の健全な成長を サポートする プロフェッショナル集団へ

総括代表社員

澤田 昌輝

應和監査法人は、2007年に監査業務を通じて、企業や社会の成長に貢献していきたいという理念に基づき、大手監査法人出身者により設立された監査法人です。

公認会計法第1条では、「公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与する」と記載しております。私たちは、この“情報の信頼性を確保すること”という部分を、“十分な指導的機能(課題解決に向けた助言機能)を発揮したうえで、批判的に監査をし、もって情報の信頼性を確保していくこと”と捉え、私たちの社会における存在意義(Purpose)のベースにしております。

監査というと、会計的な部分のみにフォーカスし、税務調査のように批判的にチェックをされるイメージを持たれる方もいるかもしれませんが、その過程で目にする企業の課題は、会計的なことだけではありません。労務、法務、システム、気候変動やサステナブルなど多岐にわたっています。私たちは、このような様々な経営上の課題や将来の事業計画についても真摯に向き合い、十分に理解したうえで経営者との対話を重ね、その事実

に基づき“経営の結果”である財務諸表の監査をしております。これは、企業に信頼性を付与する立場としてプロフェッショナリズムを常に持ち続け、どのような解決策がベストなのかということを積極的に助言・指導することで、企業を健全な成長に導くことが私たちの大切な役割であると考えているからです。

プロフェッショナルを目指すことは何の分野でも簡単なことではありません。コンサルタントでも10年以上かかって極めきるということは難しく、人生を通じて中長期的に取り組んでいく必要があります。誰でもコンフォートゾーン(やれること・やりたいこと)に居心地が良いと感じますが、プロフェッショナルを目指していくためには、主体的に新しいことに挑戦しつづける必要があります。應和監査法人には、そのようなチャレンジの機会と一緒に挑戦していく仲間たちがたくさんいます。是非その仲間に加わってもらい、一緒に信頼性のあるプロフェッショナル集団を目指していけたら嬉しいです。



Contents

Top message	3
Strengths	
IPO準備会社の監査に注力	4
より精度の高い監査を実現するためのIT活用	5
各分野のプロフェッショナルによる共創	6
国際業務～国際部のある1日の様子を紹介	7
Career development	
人財育成・研修体系・キャリア形成	8
Staff interview	
シニアスタッフ 公認会計士	10
スタッフ 米国公認会計士(ワシントン州)	11
アソシエイト	12
Office	14
Event	15

IPO準備会社の監査に注力

上場監査経験を活かしたIPO支援

應和監査法人の特徴としては、上場会社16社(2025年6月30日現在)の監査を担当しており、それと同時に、IPO(Initial Public Offering、株式公開)準備会社の監査にも注力していることが挙げられます。

應和監査法人は、大手監査法人で株式公開部門の立ち上げに携わり、20社以上の会社を公開させた経験を持つシニアパートナーにより2007年に設立後、上場会社や法定監査等を担当しつつ、IPO準備会社の監査にも注力していった結果、2020年6月のマザーズ市場(現グロース市場)へ上場を実現したことを皮切りに、2023年3月にグロース市場に、2023年12月にスタンダード市場に上場を果たし、現在も多数のIPO準備監査を実施しております。様々な業種の上場会社で培ったスキルや経験をIPO準備会社に還元していくことで、会社とともに、成長を実感することが出来る環境にあります。

監査人として会社の成長をサポート

会社がIPOを目指す目的は、資金調達の多様化や知名度の向上、社会的信用の増大などといわれていますが、本質的な目的は、会社が創業者の手を離れ、社会の公器として株式市場に果立っていき、100年企業を目指して、承継と健全な成長を通じて持続可能な発展であると考えております。ただ、IPOを目指す会社は、上場会社と比較した場合、決算報告体制が十分ではなく、また、内部統制の整備状況や運用状況に課題を抱えている会社やそもそもの内部統制が構築されていない会社もあり、そ



人事部 兼 株式公開準備部 責任者 社員 堀 友善

の課題を解消していく過程で、会社から質問や相談を受ける機会が多く、監査人としての「指導的機能」を発揮する機会が多々あり、上場会社の監査と比較した場合、違った意味合いのやりがいを感じることが出来ます。また、会社という大きい単位の成長を直接的にサポートすることになります。会社をサポートすることは働いている社員や経営をサポートすることにも繋がりますので、より大きな規模で貢献でき、達成感や充実感を大いに感じられる業務であると感じております。

監査の仕事を通じて成長を実感

應和監査法人では、入所してすぐのタイミングから、上場会社の監査を担当しつつ、IPO準備会社の監査にも関与する機会があることが魅力の一つです。職位や立場は違っても皆で同じスタート位置から監査に参加しているため、会社に関する知識は一番よく知っているという状況にもなることができ、主体性や積極性を持って仕事に取り組める環境であると感じております。雰囲気や作業内容はもちろんのこと、「批判的機能」に加えて、「指導的機能」が非常に重要であると感じてもらいたいと考えております。若い年次から、上場会社の監査→IPO準備会社の監査→上場会社の監査を繰り返すことにより、上場会社の監査で会社のあるべき姿を学び、それをIPO準備会社の現場で生かすことが大なる成長に繋がると考えているため、IPO準備監査には新人でも積極的に関わってもらっております。IPO準備会社の監査を通じて、会社の成長をダイレクトに感じ、やりがいや達成感を味わうとともに、ご自分自身のダイナミックな成長を実感してみませんか。



東京証券取引所 クライアントの上場セレモニーにて

より精度の高い監査を実現するためのIT活用

ITによる監査の効率化

應和監査法人では、ITの専門人材からなる情報通信技術(ICT)部を設けています。

近年ではAIや自動化などITを幅広く利用する会社が多くなっています。監査クライアントも同じようにIT化が進んでおり、應和監査法人としてもITへの投資が重要課題と考えております。そのIT投資の一つとして、この規模では異例のITの専門部署を持つという取り組みを行っています。

また、クラウドサービスや電子調書ツールなどの大手監査法人が利用しているITを利用した監査も行っています。このITの利用には、監査品質の維持・向上を目指しており、「監査クライアントのITの利用状況に対応した監査を適切に実施する」、「監査人が考え、監査クライアントへ指導する時間を確保するために作業効率を上げる」ことを目的としています。

監査現場を支えるIT

應和監査法人ではITを利用する為のサポートも情報通信技術(ICT)部は行っており、パソコンなどのトラブルやIT利用に関する不安を素早く解決出来る体制を整えています。

また、監査の自動化やペーパーレス化に向けたITの導入・開発にも力を入れています。

従来人が行っていた単純な入力業務などの一部を自動化できるよう自動化ツールの導入・開発を進めています。コンピューターにより自動で行える作業については自動化し、人間はクライアントとのコミュニケーションをとるなど、人間しかできない監査業務を行いより精度の高い監査を行えるよう應和監査法人ではITの整備を図っています。特に近年では自動化ツールの導入・開発に力を入れており情報通信技術(ICT)部により随時開発を行っています。

ペーパーレスでの監査

その他ペーパーレス化を進んでおり職員にサブモニターを貸与しています。従来は紙を利用した監査が主でしたが、監査クライアントもペーパーレスが多くなっていることから應和監査法人でもペーパーレスへの対応を進めています。ペーパーレスでの作業の場合ノートパソコンのモニターだけでは作業効率が悪くなる為、職員にはモバイルモニターの貸与を行いペーパーレスでの監査にも対応できる環境の整備も行っています。

システム監査とセキュリティ研修

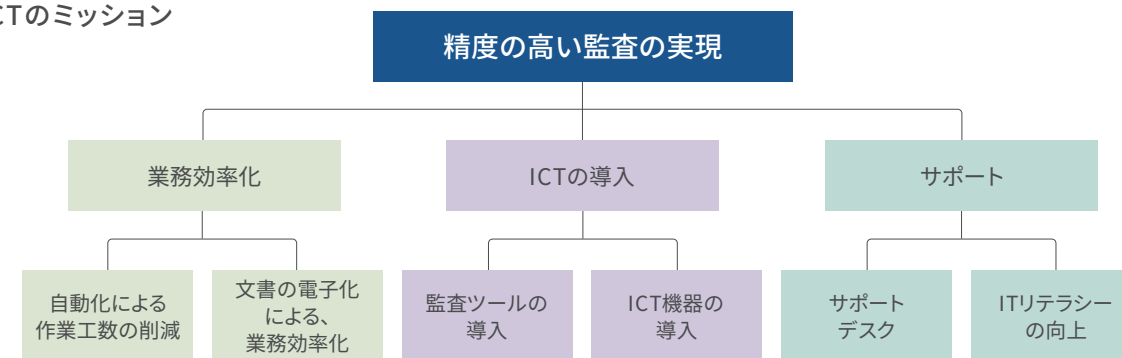
應和監査法人の情報通信技術(ICT)部ではシステム監査も担当しています。

実際に監査業務に携わることで現場の要求のキャッチアップが出来、業務効率化を図るきっかけにもなる為、監査業務も行っています。

その他、情報通信技術(ICT)部が主導のもと昨今のセキュリティ事故の事例を踏まえたセキュリティ研修を行っており職員の情報セキュリティの意識向上を図っています。



ICTのミッション



各分野のプロフェッショナルによる共創

應和グループ^{※1}では、グループ各法人が相互に連携して「専門家集団によるトータルサービス」を提供しています。企業の様々な経営課題に対し、監査、税務、法務、労務、アドバイザリーのプロフェッショナルが「共創」することで、最適な解決策を提示しています。また、常に各分野のプロフェッショナルの知識に触れられる環境が整っているため、日々の業務を通じて自身のスキルを磨くことができます。



※1 應和グループの各法人はすべて独立した法人であり、公認会計士法上のネットワークファームではありません。また、應和グループは、AGN International、Allinial Globalに加盟する独立したメンバーファームです。

※2 多様な国が加盟し、国際的な枠組みで協力し合いながら、シームレスなサービスの提供を実現しているグローバルアソシエーションです。「International Accounting Bulletin 2025 Fee Income」によると、Allinial Globalはアソシエーション2位、AGN Internationalはアソシエーション5位です。

国際業務



現在、應和監査法人では「国際業務」にも注力しています。
そこで、国際業務担当の1日の様子を紹介します。

国際業務（リファード業務）とは

今日も濃密で刺激的な1日が始まります…。

朝9:00、始業と同時にNYのクライアント、現地監査人との打ち合わせで論点となっている会計処理の打合せ、日中はクライアントの日本法人へ往査、その後、夕方から新たなUKの営業先とのWeb会議…そんな感じで毎日の国際業務が流れていきます。

應和監査法人では、海外の監査法人から委託を受けて、親会社が海外にある日本子会社の監査を実施しています。主に、親会社監査人からの指示に基づく監査です。これをリファード業務といいます。

リファード業務ではクライアントとの契約締結後、親会社監査人からの指示書（インストラクション）に基づき、監査計画を立案し、監査を実施し、監査証拠のとりまとめと意見形成を行います。この間に親会社監査人や親会社の担当役員と電話、メール、Web会議で頻繁にコミュニケーションします。コミュニケーション言語はもちろん英語です。また、財務諸表に適用される会計基準はIFRSやUS-GAAPであり、日本の会計基準との相違点をしっかり押さえていく必要があります。

国際業務の魅力とは

海外とのコミュニケーションにおいては、相手国のビジネス上の慣習や文化を念頭に置いて、しっかりとした成果が出るようにコミュニケーションしていく必要があります。日本では言いたいことを口に出さずとも心で通じることも多々あり、それを美德ととらえることがありますが、海外はそうはいきません。はっきりと明確に言葉で伝えて、しっかりと主張していく必要があります。ドメスティックな環境だけで仕事をしていると、時折面食うこともありますが、この異文化コミュニケーションの体感こそが、国際業務の大きな魅力の一つです。この経験を通じて、一回り大きな人間になれるような気がします。

実際の業務以外に異文化コミュニケーションを体験する貴重な機会として、海外のアソシエーションネットワークが主催しているカンファレンスへの出席があります。ここでは各国の加盟事務所

から集まったパッションあふれる人たちとともに、会計、監査、その他について熱い議論を交わし、夜にはディナーパーティでも交流し、その間お互いの友好関係を深めていくことで事務所単位のみならず自分自身の人脈ネットワークも広げていくことができます。

應和監査法人ではAllinial Global、AGN Internationalという2つのグローバルアソシエーションに加盟し、各アソシエーションが主催するカンファレンスに若手も積極的に参加しています。よって、このようなカンファレンスに参加できる機会は多くあります。国際業務や異文化交流について前向きなマインドを持つ人にとってはこれ以上ない最高の環境です。

こんな素敵なキャリアを積める應和監査法人の国際業務で共に成長を目指しませんか？

一緒に頑張りましょう！

2023・2024年CONFERENCE 参加の様子（若手スタッフも同行しました）



AGN INTERNATIONAL

ALLINIAL GLOBAL

人財育成・研修体系・ キャリア形成

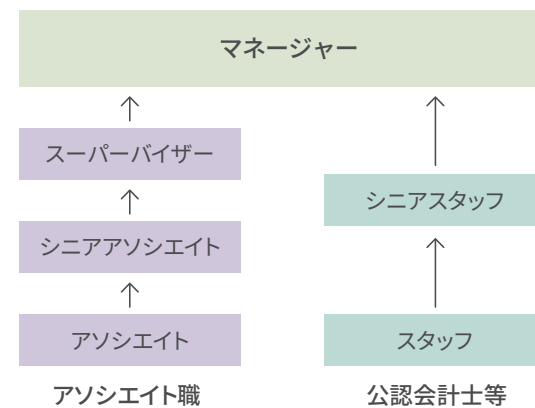
監査品質を維持・向上していくためには、優秀な人財を継続的に採用し、育成することが重要なことだと考えています。應和監査法人では、公認会計士資格の有無だけではなく、公認会計士の資格がなくても、監査現場において必要となる様々なバックグラウンドを有する人財を採用し、お互い足りないところをサポートし合うほか、継続的に研修を実施していくことで監査品質を維持向上できると考えています。



アソシエイト制度の採用

近年、監査の担い手である公認会計士の監査離れが発生し、また、“新しいビジネスモデルの登場”、“広範囲にわたる高度なITの導入”、“サステナブルに対する開示”等、従前の公認会計士の基礎知識を超える変化が起きています。当該環境の変化と、様々なバックグラウンドを有する人が監査補助者をしている海外会計事務所での運用事例も考え、應和監査法人では、公認会計士資格がなくても、大学等での学習履歴や簿記検定等での最低限の会計・監査のバックグラウンドを有する人財をアソシエイトとして採用しています。アソシエイトは、データ更新等の単なるサポートだけではなく、キャリアに応じて監査補助業務を自ら実施できるよう研修・キャリア制度を設定しています。また、キャリアに応じて、様々な資格取得を推奨し、アソシエイト自身が監査

補助業務経験を通じて、会計・監査業界で主体的にキャリア形成できるようにしています。



研修制度

専門職員に必要とされる適性や能力を維持・向上させるためには、全ての専門職員が継続的に研修を受けることが重要と考え、様々な研修制度を設けています。

監査品質を維持・向上するために必要とされる適性、能力、経験および職業倫理を備えた職員を十分に確保するために、専門的知識・能力の習得、職業的専門家としての資質の醸成、および監査のマニュアルの有効な運用等に関して、CPD（継続的専門能力開発）として求められている必須研修分野を含めて年間40



全体研修の様子

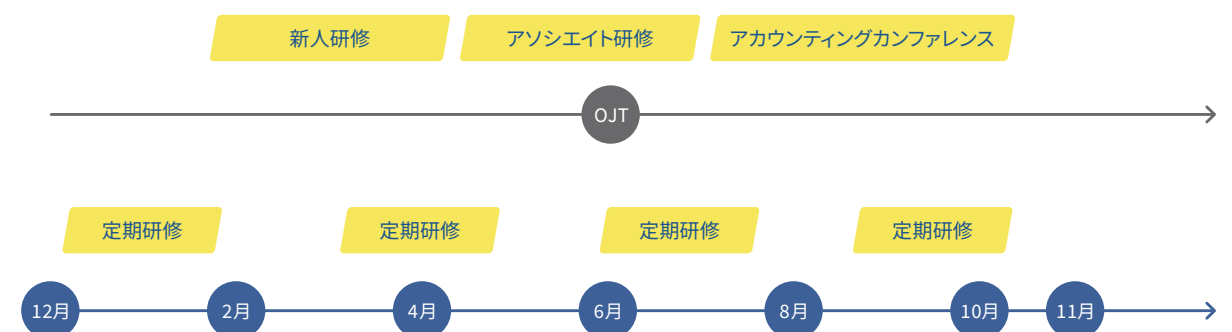
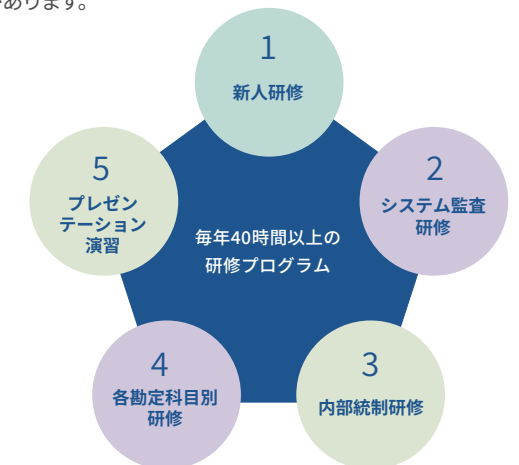
時間以上の全体研修を計画的に実施しております。また、専門職員のバックグラウンド別に、「新人研修」や「システム監査研修」、「内部統制研修」、「各勘定科目別研修」のほか、外部講師による「プレゼンテーション研修」「リーダーシップ研修」等も実施しています。研修は講義形式に加えて、資格・職位横断的なグループワークを行い、発表・共有する形式で実施することで、知識の定着はもちろんのこと、プレゼン能力やコミュニケーション能力の向上を図っています。

研修で学んだことを監査現場において実践・定着させる「OJT」を重視しており、往査前後には、必ず監査チームにてミーティングを実施しています。往査前には、主査（チームリーダー）より当該トピックス、重点項目・割当等について事前に共有・徹底し、往査後は各自反省点を次回に生かせるようチームでミーティングを行い、各自の成長を促しています。

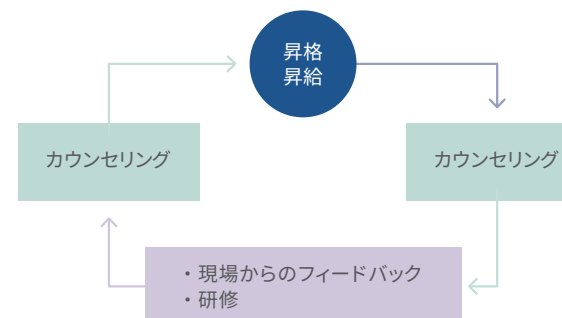
さらに、月2回会計・監査について学びたい内容を挙げアソシエイト研修を実施する等、さらなる知識の習得・定着の機会を設

け、監査現場でのOJTと相乗効果になるように計画的に研修を実施しています。

また、若い年次から應和監査法人が加盟しているグローバルアソシエーションであるAllinial Global、AGN Internationalが実施しているカンファレンスや海外往査、若手育成プログラムに参加できる機会などがあり、様々なことにチャレンジできる環境があります。



人事評価制度



年間を通じて、各役職または年次に求められている要求事項と比較して各監査現場で業務状況を確認し、最低年2回のカウンセリングを全専門職員に対して実施、加えて、パートナーや上長である職員による業務評価を実施しております。



シニアスタッフ
公認会計士

さまざまな業務を経験して

学びながら実践し、実践しながら学べる環境

私は應和監査法人に入所して6年目になり、現在は上場会社の主査として監査業務に携わっています。

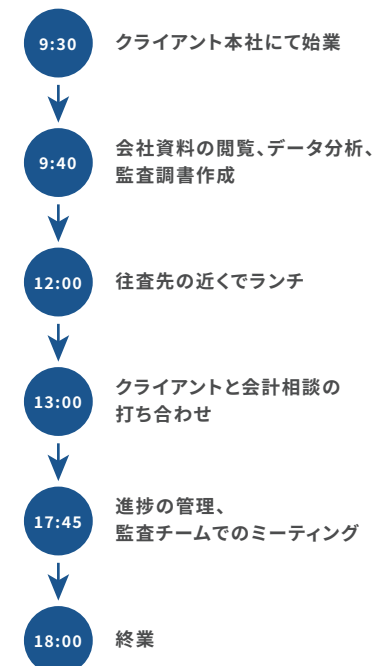
法人としてIPO準備監査に力を入れており、2020年にクライアントがマザーズ市場(現グロース市場)に上場して以降、現在も複数の案件が進行中です。私が初めてIPO業務に関わったのは入所3ヵ月目で、何も分からない状態でしたが、先輩方のヒアリングを間近で見ながら、また上場を目指すクライアントの熱意や真剣な姿勢に触れ、大きな刺激を受けたことを今も覚えています。

私の現在の業務は監査の現場をまとめることで、内容としては、スケジュール管理や課題解決、クライアントとの直接のやり取りなど幅広くあります。日々業務を行っていく中で、戸惑うことはあります。しかし地道な業務や日々の積み重ねが会社や社会の健全な発展につながっていくと思い、大変さを感じることもありますが、やりがいも感じています。

應和監査法人は、日々学ぶ機会に恵まれ、監査業務等の経験豊富な先輩方の指導を身近に受けることが出来ます。学びながら実践し、実践しながら学べる環境のため、会計士として力をつけたいと思っている方や熱意のある方にとって、應和監査法人は良き場であると思います。

Schedule

1日スケジュール



スタッフ
米国公認会計士
(ワシントン州)

グローバルに挑む監査人

専門性とグローバルな視野を一気に高められる

米国公認会計士として、主に上場企業の法定監査、IPO支援業務、外資系企業のリファード業務を担当しています。特に、リファード業務(海外の親会社監査人からの指示に基づく監査)では異なる文化や制度を理解しながら、グローバルな視点で企業の課題に向き合える点に大きなやりがいを感じています。

業務を通じて、IFRS(国際会計基準)、US-GAAP(米国会計基準)の実践力や、多国籍チームとの英語でのコミュニケーション能力が身につきます。

また、語学力や専門知識を活かしながら、チームで連携しプロジェクトを進める仕事は刺激にあふれ、常に新たな学びがあります。

應和監査法人の魅力は、一人一人の裁量が大きく、若手でも幅広い業務に挑戦できる点です。単なる作業者ではなく、監査の全体像を理解しながら成長できます。代表や上司との距離感も近く、挑戦を後押ししてくれる風土があるため、安心して国際業務にも取り組みます。

実際に、入社1年目から海外と連携する案件に関われるチャンスも多く、専門性とグローバルな視野を一気に高められる環境が整っています。

世界を舞台に活躍したい——そんな想いを持つ方にとって、應和監査法人は可能性を広げる最高のフィールドです。

Schedule

1日スケジュール





アソシエイト

トップアソシエイトとして広がった業務と成長

日々多くの刺激と学びを得ています

監査アソシエイトとしての業務の魅力は、公認会計士の監査業務をサポートするだけでなく、自身で個別の勘定科目の検討や監査調書の作成を主体的に行える点にあります。私は入社して3年が経ち、現金預金をはじめ、固定資産や販売管理費など、さまざまな科目を担当してきました。入社当初は検討の進め方が分からず、戸惑うことも多くありましたが、月2回開催されるアソシエイト研修で基礎を学び、実務を通して経験を積むことで、現在では自ら会計上の誤りに気づけるようになりました。

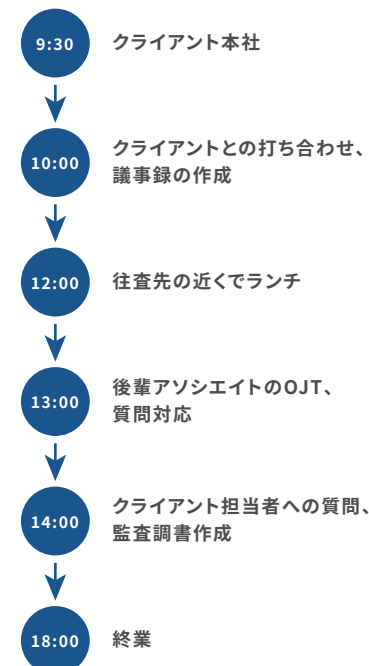
また、チーム内で最も年次の高いアソシエイトは「トップアソシエイト」として、より多くの業務に携わることになります。会計士の先輩方とともに会社の概況ヒアリングに同席したり、クライアントとの日程調整などを担当する機会が増え、より高い責任感を持って業務に取り組むようになりました。

さらに、後輩アソシエイトの調書を査閲する業務にも関わるようになり、多くの学びがありました。調書の体裁ミス指摘したり、後輩からの質問に回答する過程で自分自身の知識を深めることができ、監査に対する理解とスキルの向上にもつながっています。

應和監査法人では、チームで切磋琢磨しながら監査業務に取り組んでおり、公認会計士の先輩方やアソシエイトの後輩からも日々多くの刺激と学びを得ています。今後も、チームやクライアントに貢献できるよう、一層業務に励んでまいります。

Schedule

1日スケジュール



アソシエイト

学びと成長の1年

多くのチャンスに恵まれ、成長できる環境に感謝

アソシエイト1年目として入所してから1年間は、学びと発見の連続でした。会計や監査の専門知識を吸収しながら、実務を通じてクライアントへの理解を深めていくなかで、常に新しい視点や刺激を受けています。

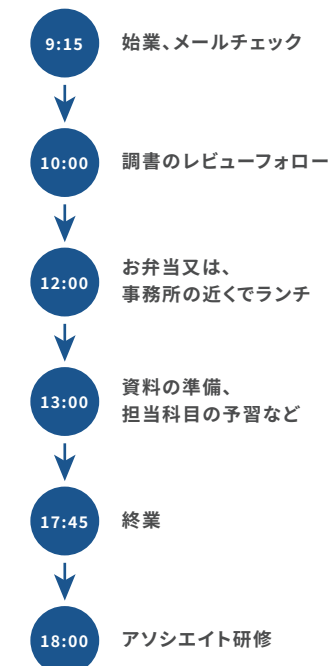
この仕事の大きな魅力のひとつは、幅広い業界・業種の企業に関われる点です。上場企業やIPO準備会社、さらには非営利法人まで、多様なクライアントに携わることで、それぞれのビジネスモデルや資金の流れ、組織の仕組みを深く理解することができます。特に、クライアントへのヒアリングや棚卸立会を通じて企業の「内側」に触れられる点は、監査業務ならではの面白さだと感じています。

應和監査法人では、アソシエイトであっても実際の監査業務に携わり、調書の作成なども任せられます。必要な知識は、OJTに加えて研修を通じて体系的に身につけることができ、着実にステップアップしている実感があります。最初は理解が難しかった調書も、学びを重ねることで徐々に深く理解できるようになり、自分の成長を実感する瞬間にやりがいを感じています。

多くのチャンスに恵まれ、成長できる環境に感謝しつつ、今後もプロフェッショナルとしてのスキルを高めていきたいと考えています。

Schedule

1日スケジュール





應和監査法人では数々のイベントを通してスタッフ間のコミュニケーションを密にとっています。コミュニケーションが活性化することで“ほう・れん・そう”のしやすい職場環境になり業務効率も上がると考えています。

4月

新入所職員歓迎会

社内全体で新入所職員を歓迎。事務所で食事をケータリングし、先輩職員と交流を深める機会です。

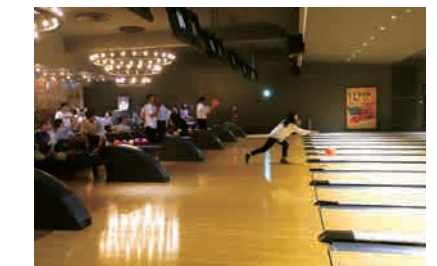
7月

繁忙期お疲れ様会

10月

應和グループ合同のボウリング大会

景品をかけたチーム対抗のボウリング大会で大盛り上がり。普段あまり接点のないメンバーともチーム戦を通じて打ち解けました。



12月

忘年会・納会

1年を締めくくる忘年会。グループ法人全体が参加する大きなイベントです。ゲーム大会では豪華景品が沢山用意されています。



1月

御祈禱と新年会

 Ohwa & Co.
應和監査法人

 agn
INTERNATIONAL

Member of
Allinial
GLOBAL
An association of highly independent firms

應和監査法人

tel: 03-6848-6025 fax: 03-6848-6027
e-mail: info@ohwa-audit.co.jp
〒101-0051 東京都千代田区神田
神保町1-105 神保町三井ビルディング



〈應和グループ〉

應和税理士法人
tel: 03-6275-0245 fax: 03-6275-0246
e-mail: info@ohwa-tax.or.jp

應和ビジネスアドバイザー株式会社
tel: 03-6275-0247
e-mail: info@ohwa-ba.co.jp

株式会社SMEサポート
tel: 03-6275-0247

應和社会保険労務士事務所
tel: 03-6275-0245
e-mail: ohwa-hr@ohwa-tax.or.jp

弁護士法人 直 法律事務所
tel: 03-6256-8925 fax: 03-6256-8926
URL: <https://nao-lawoffice.jp/>
e-mail: info@nao-lawoffice.jp
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4
砂防会館別館B棟5階

(注) 應和グループの各法人はすべて独立した法人であり、公認会計士法上のネットワークファームではありません。